

令和2年度第2回庄原市特別支援教育研修会

令和2年11月20日（金）14:00～16:35 庄原市ふれあいセンター

「特別支援教育の校内支援体制の中核を担う、特別支援教育コーディネーターや特別支援学級担任の資質向上を図るとともに、校内支援体制の充実及び特別支援教育を視点に据えた授業改善を推進する。」ことを目的に研修会を行いました。

【実践発表・交流】「障害特性に応じた教科の指導」

庄原市立東小学校 教諭 熊谷 恵梨香
庄原市教育委員会 指導主事 小谷 綾子



■自閉症・情緒障害特別支援学級における算数科の実践発表と、各校における障害特性に応じた指導・支援の工夫についての交流を行った。

- ・**実践発表**：初見の問題文の文意を把握することの難しさに対して、スモールステップで繰り返し取り組むことで理解が深まるという強みを生かして、算数科の授業における指導と支援の工夫を行った。
- ・**交流**：各校における児童生徒の強みや得意なことを生かした指導や支援の実際をグループ交流した。

【参加者より】

- 実践発表を通して、児童の強みを生かした指導が有効だと感じたので、改めて児童実態を十分に把握したい。
- 授業の流れや活動をパターン化し、児童が見通しをもって取り組める環境を整えていきたい。

【講話・演習】「自立活動の指導について」

庄原市教育委員会 指導主事 小谷 綾子



■自立活動の意義、内容等について講話するとともに、自立活動の指導の実際についてグループごとに交流し、自立活動の設定演習を行った。

- ・自立活動は、児童生徒一人一人の自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的な発達の基盤を培うために行う。
- ・新学習指導要領では、小学校、中学校の特別支援学級においても自立活動を指導することが明示され、指導項目は6区分27項目となった。
- ・自立活動は、個別の指導計画を作成し、それに基づいて指導を展開する。

【参加者より】

- 生徒の実態から区分に分けて整理し、指導内容を設定することが分かった。校内研修等で交流しながら、次年度の個別の教育支援計画もふまえて、自立活動の指導計画を立てたい。
- 自力で生活していける大人になるよう、児童の課題を整理して中心的課題を見付け、自立活動の指導を充実させたい。

【参加者の感想等】

- ◆他校の取組が聞けて良かった。自校に自分以外の特別支援学級担任がおらず、普段あまり相談できないこともあるので、このような研修会は本当にありがたいと思う。
- ◆生徒実態の把握の重要性を改めて感じた。